

I 実践

1 研究主題 「人権尊重の精神の涵養を目指す人権教育の推進」 ～教育活動全体を通じた生徒の人権感覚や人権意識の育成～

(1) 主題設定の理由

本校では、人権教育の課題を明確にし、校内の指導体制を確立するとともに、正しい認識を人間教育の教育を推進することを人権教育の目標としている。そのための努力点として、「人権感覚や人権意識を醸成する人権教育の推進体制の整備・充実を図る」「人権尊重の精神の涵養を民主的な人間関係の育成に努め、学校の教育活動全体を通して人権教育の推進を図る」「校内研修を積極的に実施し、教員自らの人権に関する理解や認識を深める」「学校と家庭・地域社会との連携及び啓発を図る」ことを掲げている。

本校の生徒は、素直で落ち着いた学校生活を送っている。あらゆる場面で思いやりの気持ちをもった生徒を育成できるよう、この主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 委員会活動や奉仕活動の参加等を通して、ボランティア精神や他者を思いやる気持ちを育てる。
- イ 道徳の授業を通して人権意識を高める。
- ウ 生徒の主体的な活動を通して人間関係を深める。
- エ 外部講師の講演を通して、人権に関する情報や知識を得る。

2 実践内容

(1) 委員会活動

- ア 生徒会と希望者による校内あいさつ運動
- イ 宮田小、中小路小と連携したあいさつ運動
- ウ 生徒会による熊本地震募金活動
- エ J R C委員会による募金活動
- オ 生徒会、J R C委員会による地域の行事への参加

【あいさつ運動の様子】



(2) 道徳授業の充実

- ア 人権メッセージ

(3) 生徒の主体的な活動の呼びかけ

- ア 地域の行事の参加（地域のお祭りや敬老会）
吹奏楽部や科学研究部が積極的に参加し、地域の方々との交流を図る
- イ 宮田川清掃の参加
1学年、3学年約50名の生徒が参加した。
- ウ 人権や福祉に関する作文や標語への応募
3学年の生徒が福祉に関する作文コンクールにおいて優秀賞を受賞した。
- エ 希望者による県J R Cリーダーシップトレーニングセンターへの参加
2学年3名の生徒が参加した。

(4) 1学年総合的な学習の時間におけるボランティア活動への参加

- ア 福祉施設でのボランティア活動
- イ ごみ拾い等の奉仕作業
- ウ プルタブやベルマーク回収の呼びかけ

(5) 外部講師を招いての活動

- ア ピア・サポート研修講座の実施
3学年の希望者がピア・サポート研修生として、スクールカウンセラーの来校日に研修を受けた。
- イ 薬物乱用防止教室
2学年を対象に、警察官を講師に招き、薬物の危険性や命の大切さについて講演していただいた。

【宮田川清掃の様子】



【薬物乱用防止教室の様子】



【地域の行事への参加の様子】



【県 JRC リーダーシップトレセンの様子】



【1 学年総合的な学習の時間の様子】



3 成果

- (1) 生徒会や委員会活動、各学年の授業や学級活動など、さまざまな場面で地域への行事や奉仕作業に積極的に取り組むことができ、奉仕の心が身につけてきている。
- (2) 「あいさつ運動」「ピア・サポート研修」「人権や福祉に関する作文への応募」など、毎年取り組んでいる活動を通して、一部の生徒ではあるが思いやりの気持ちが浸透してきている。継続して指導をし、広げていくことが大切だと感じた。
- (3) 「宮田川清掃」や「敬老会」「福祉施設へのボランティア」に参加し、お年寄りや地域の方々とはふれ合うことで、他者を思いやりたり助けたりする気持ちが育った。

II 今後の課題

様々な活動を全校へ広げることができ、思いやりの心が身に付いてきている。しかし、学校生活の中で、思いやりの心が生かされていない場面も見受けられる。全生徒の理解を深め、さらに全校に人権意識を浸透させていきたい。